

一般質問(文責は質問者)

市政を問う

# 中学校再編成計画について



荒川 栄悦 議員  
(清風会)

**問** 新教育長になられて、再編成計画案について各町

で懇談会を行ったが、その総括は。

**答** 今回の懇談会を通じ、色々な意見はあったが、小友を除けば総じて教育委員会が提示している市内8校を、3校に再編成する計画案について多少の温度差はあるものの、概ね理解を戴いていると受け止めた。特に附馬牛にあつては地域協議会や小中PTAの集まりを持ち、計画案見直しの署名活動を行った団体の

方々も含め、計画案を了解する前提に立ち、再編成への要望事項をまとめて行きたいとの代表者からの発言を戴いた。また、小友町については、話し合いの窓口となる「中学校再編成計画を考える会」との積極的な話し合いの場を創っている。計画決定の時期が延び

ていることによる市民皆さんの不安を払拭したい。

**問** 再編成計画案についての合意形成は誰がいつ、どのように判断するのか。

**答** 数で白黒を付けるような住民投票やアンケートを、計画案を示しているこの段階で取ることは考えていない。あくまでも議論を積み重ねることによる話し

合いの中から、また、再編成への市民の方々の反応や様子から、合意形成の判断をしたいと考える。今後においても、誠心誠意、意見交換の場を大事にしていく所存である。

**問** 遠野市わらすっこ条例に、再編成計画の当事者である子どもたちが意見を述べる権利が保障されているが、生徒から意見を聞く考えはないのか。

**答** 中学校再編成計画の根幹を成す学校数、学区設定、校舎位置、再編成時期等の基本的事項については、大人の責任において道筋を決めるものと考えており、子どもたちから意見を聞くことは考えていない。子ども

もたちの出番は、参加すべき内容を大人が見分けてから、その後の新しい学校づくりに参加させることにこそあり、その中で、意見を表し、その意見が反映される仕組みを作ってあげるこ

とにある。中学生が大きく成長できる、より良い教育環境を目指した再編成計画について、保護者や地域の方々の理解や支持がますます深まるよう、誠心誠意努力していく。



改築が待たれる遠野中学校